

基本目標Ⅱ-2

誰もが自分らしくいきいきと暮らし続けることができるまちづくり



基本的な方向

- こどもから高齢者まですべての市民がスポーツやレクリエーション活動等を通じて、生涯にわたって楽しみながら心と体の健康づくりや豊かな人間関係の構築などに取り組めるよう支援するとともに、高齢期においては、可能な限り介護を必要とせず健康な心と体を維持できるよう、市民の健康寿命*の延伸を支援する取組を進めます。
- 市民の参画と協働を基本に、すべての市民が世代や立場を超えてつながり、共に支え合う「地域共生社会*」の実現や、介護・医療・介護予防・生活支援・住まいのサービスが一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組み、誰もが自分らしくいきいきと暮らし続けることができるまちづくりを進めます。



数値目標

指標名	現状	目標
「地域社会」について満足している市民の割合	R6年度 50.5%	R11年度 55.0%
「健康の維持」について満足している市民の割合	R6年度 57.3%	R11年度 63.0%
「福祉施策」について満足している市民の割合	R6年度 22.9%	R11年度 25.0%



重点施策

- ① 生涯にわたる学びを基盤としたひとりづくり・つながりづくり・地域づくり
- ② 家庭・学校・地域等の連携による教育力の向上
- ③ 社会教育施設の特色をいかした生涯学習の推進
- ④ 市民総スポーツ運動の推進
- ⑤ 生涯スポーツを推進するための環境づくり
- ⑥ 健康づくりの推進
- ⑦ 疾病の早期発見・早期対策
- ⑧ 介護予防・フレイル*予防の推進
- ⑨ 地域での活躍・貢献機会の充実
- ⑩ 適切な医療体制の確保
- ⑪ 参画と協働のまちづくりの展開
- ⑫ コミュニティ活動の支援
- ⑬ 住民参加と地域福祉活動の促進
- ⑭ 福祉学習の推進と福祉の担い手づくり
- ⑮ 包括的支援体制と権利擁護活動の充実
- ⑯ 地域で安心して暮らせる基盤づくり
- ⑰ 在宅医療・介護連携の推進
- ⑱ 包括的支援体制の推進
- ⑲ 認知症支援の推進
- ⑳ 生活支援サービスの提供体制の構築
- ㉑ 権利擁護の推進
- ㉒ 介護人材の確保・育成
- ㉓ 外国人住民へのコミュニケーション支援
- ㉔ 外国人住民の生活支援
- ㉕ 多文化共生*の地域づくり



主な取組

食べて、話して、つながる。 麒麟のまち地域食堂ネットワーク

始まりは、こども食堂。こども達のために集まった支援が、少しずつ広がり、地域のつながりとなりました。麒麟のまち地域食堂ネットワークは麒麟のまち圏域*の地域食堂（こども食堂）を「だれもが使える食堂」とし、食で繋がる居場所づくりを支援しています。



地域食堂を通じて交流する様子

市民の体力の増進、健康な生活づくり

市民の体力の増進、健康な生活づくりが営めるように昭和33年に始まった鳥取市市民体育祭は令和7年で68回を迎えました。令和7年度より、鳥取市民スポーツ大会に名称変更し、小学校区対抗形式でさまざまな競技で熱戦が繰り広げられます。



鳥取市民スポーツ大会